

喀喇沙爾馬

冷なりと云ふ。惟ふに東南一大湖を有する爲めならんか。有名なる喀喇沙爾馬は吐爾扈特族の牧養する所にして、内地の騎用を充足し、外、露國に輸出するもの、年々少なからずと云へり。

第七節 喀喇沙爾より庫車に向ふ

一 戈壁帯の一仙境

轎車の賃銀

喀喇沙爾、阿克蘇間は約二百十餘里ありて、通常十八日行程とす。此間二臺の轎車、計銀四十六兩の定めを以て雇入し、予は概ね伊犁副都統所贈の駿馬に跨り、行李は別に轎車に積み、從僕二名を伴ふ。道路は喀喇沙爾、庫爾勒間は西南、其れより正西に進む。

六月二十六日喀喇沙爾を發す、聞知府、熊參將、其他文武官及天津商寶聚成主人戴等遠く送り來りて、開都河渡船場畔に分袂し、此より馬を驅て四十里井、紫泥泉子を經、哈爾阿滿溝に達する頃、日は早や西に春けるも、宿るべき家なし。此地は街道一の要衝に當りて、且つ絶景の地と稱せらる。宜なり開都河は天山最後の支脈たる

開都河の絶景